

# 2014年3月期 第1四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2013年7月31日

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

\*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

**USHIO**

Lighting —Edge Technologies

- 
- I. **第1四半期業績概況**
  - II. 通期業績見通し
  - III. 参考資料

# 今回の決算発表の背景とポイント

第1四半期累計期間の業績は、連結売上高が前年同期比1.5%減収の354億円、連結営業利益は同19.6%増益の22億円となり減収増益決算。

## ➤ 背景となる分野別市況

エレクトロニクス分野について：

FPD、半導体、電子部品関連メーカーの稼働は緩やかな回復傾向。設備投資は日本国内の中小型液晶パネルに続き中国での投資が年度内に本格化の兆し。電子部品市場の設備投資は依然低水準。

映像画像分野について：

デジタルシネマプロジェクタ（DCP）が先進国で相当程度普及し、販売の中心は新興国へシフト。シネマ以外の一般映像用装置の市場は引き続き拡大中。

## ➤ セグメント別業況のポイント

装置事業：

映像装置は、DCPの販売減によりYoYでは減収。ただし円安による効果や一般映像が堅調に推移したためQoQでは増収。光学装置は、季節要因に加え、電子部品市場の設備投資で一部見直しがあったこと、またFPD市場の設備投資による出荷が2Q以降に集中しているためYoY、QoQ共に減収。

光源事業：

シネマプロジェクタ用クセノンランプの販売は引き続き拡大し、四半期としては過去最高。露光用UVランプはユーザの設備稼働率が回復傾向にあり、堅調に推移。ハロゲンランプは高シェアを維持するOA用が牽引しYoY、QoQともに増収。

研究開発費は、EUV事業を日本へ集約したことによりYoY、QoQともに減少。

なお、第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想については変更なし。

# 業績サマリー

(億円)	FY12	FY13	YoY		FY12	FY13	QoQ	
	1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
売上高	359	354	▲5	▲1.5	376	354	▲22	▲5.9
営業利益	19	22	+3	+19.6	21	22	+1	+5.2
営業利益率 (%)	5.3	6.4	+1.1P	-	5.8	6.4	+0.7P	-
経常利益	11	34	+23	+196.1	42	34	▲7	▲17.2
当期利益	5	30	+25	+505.8	40	30	▲10	▲25.1
EPS (円)	3.84	23.28			31.08	23.28		
為替レート (円)								
USD	80	99			93	99		
EUR	101	130			122	130		

為替による通期の 影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
USD	12	2	3

## セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY12	FY13	YoY		FY12	FY13	QoQ	
		1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
装置事業	売上高	219	200	▲18	▲8.2	222	200	▲21	▲9.8
	営業利益	3	11	+7	+201.7	3	11	+8	+269.1
	営業利益率 (%)	1.7	5.6	+3.9P	-	1.4	5.6	+4.2P	-
光源事業	売上高	131	148	+17	+13.3	145	148	+3	+2.1
	営業利益	14	11	▲3	▲23.0	19	11	▲8	▲41.3
	営業利益率 (%)	11.3	7.7	▲3.6P	-	13.3	7.7	▲5.7P	-
その他	売上高	9	4	▲4	▲49.3	8	4	▲3	▲42.1
	営業利益	0	▲0	▲0	▲110.1	0	▲0	▲0	▲111.8
	営業利益率 (%)	2.8	▲0.6	▲3.4P	-	2.8	▲0.6	▲3.3P	-

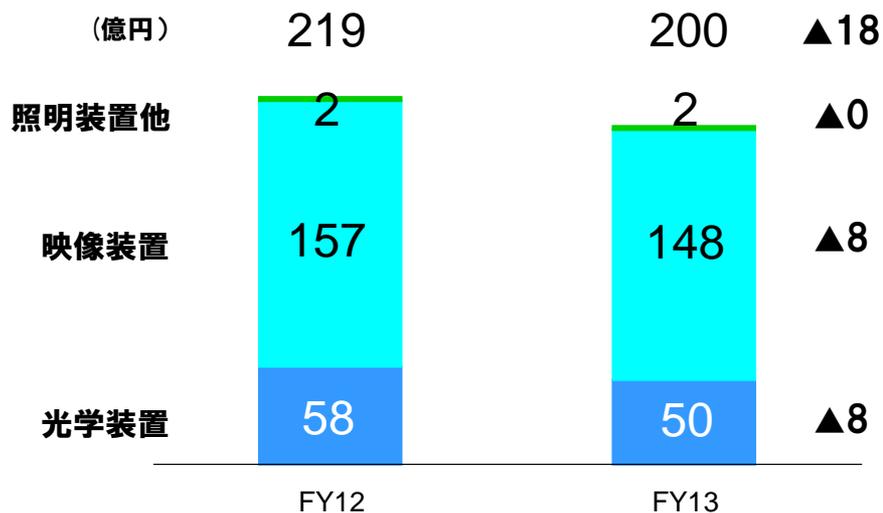
注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

# 装置事業セグメント概況

《1Q前年比較》

売上高

増減



## ◆ 映像装置：

先進国で一巡したDCPの販売は、新興国市場向け製品の投入もありYoYでは減少。一方、一般映像は堅調に推移。

## ◆ 光学装置：

FPD市場・電子部品市場は投資の本格化に至らず、また季節要因もあり、YoY、QoQともに減収。

《1Q前年比較》

FY12  
1Q

FY13  
1Q

YoY

《1Q直前期比較》

FY12  
4Q

FY13  
1Q

QoQ

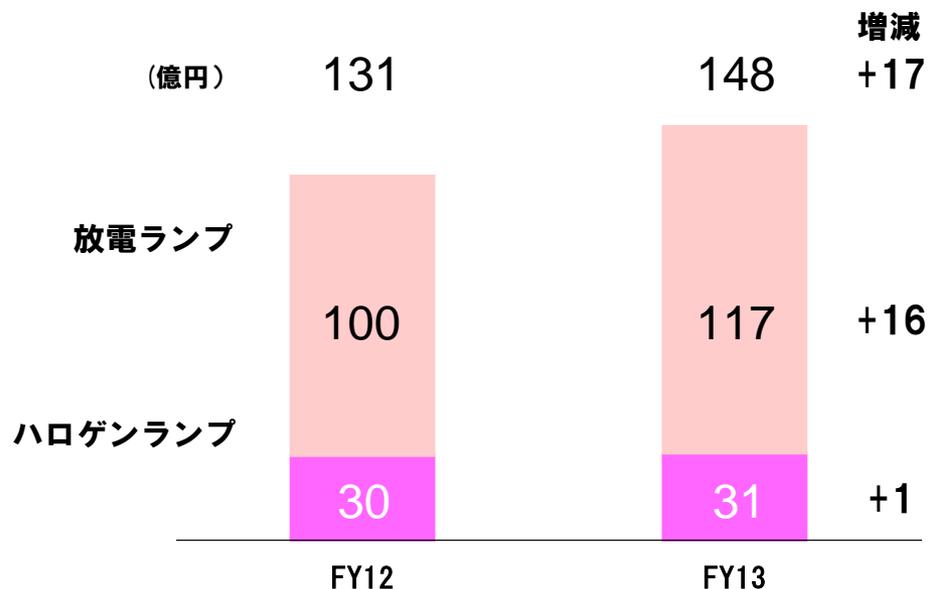
売上高	セグメント	FY12 1Q	FY13 1Q	YoY	売上高	セグメント	FY12 4Q	FY13 1Q	QoQ
売上高	映像装置	157	148	▲8	売上高	映像装置	140	148	+8
	光学装置	58	50	▲8		光学装置	78	50	▲28
	照明装置他	2	2	▲0		照明装置他	4	2	▲2
<b>合計</b>		<b>219</b>	<b>200</b>	<b>▲18</b>	<b>合計</b>		<b>222</b>	<b>200</b>	<b>▲21</b>

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

# 光源事業セグメント概況

《1Q前年比較》

売上高



## ◆ 放電ランプ：

シネマ用クセノンランプは、過去最高の売上。露光用UVランプは、ユーザの緩やかな稼働回復により堅調に推移。

## ◆ ハロゲンランプ：

OA関連では、タイ洪水の緊急対応が終了するも高シェアを背景にYoY、QoQ共に堅調。

《1Q前年比較》

(億円)

FY12  
1Q

FY13  
1Q

YoY

《1Q直前期比較》

(億円)

FY12  
4Q

FY13  
1Q

QoQ

売上高	放電ランプ	100	117	+16	売上高	放電ランプ	115	117	+2
	ハロゲンランプ	30	31	+1		ハロゲンランプ	30	31	+0
合計		131	148	+17	合計		145	148	+3

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. **通期業績見通し**
  - III. 参考資料

## 通期業績の見通し

(億円)	1Q	進捗率 (対上期公表値)	上期公表値	通期計画
売上高	354	47%	750	1,600
営業利益	22	46%	50	125
営業利益率 (%)	6.4	-	6.7	7.8
経常利益	34	58%	60	145
当期利益	30	76%	40	100
EPS (円)	23.28	-	30.5	76.26
ROE (%)	1.7	-	2.3	5.6
配当 (円)	22	-	-	22
配当性向 (%)	94.5	-	-	28.8
USD	99		90	90
EUR	130		120	120

\*第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想については変更なし。

# 今後の見通し

## ▶装置事業

### 映像装置分野：

DCPの販売は、先進国での普及が相当程度進んだことにより、当面、販売は漸減していく見通し。市場は先進国から新興国へ移行しつつあるため、新興国向け製品「Solaria」シリーズを積極投入することでシェアを維持し、クセノンランプの安定的販売につなげていく。一方、シネマ以外での一般映像の市場は着実に拡大しており引き続き成長を期待。

### 光学装置分野：

光配向など液晶パネル用光学装置の本格的な出荷は2Q以降となる見込み。電子部品関連装置の引き合いは増加しているものの、本格的投資再開は来年度以降にずれこむ見通し。

## ▶光源事業

### 放電ランプ：

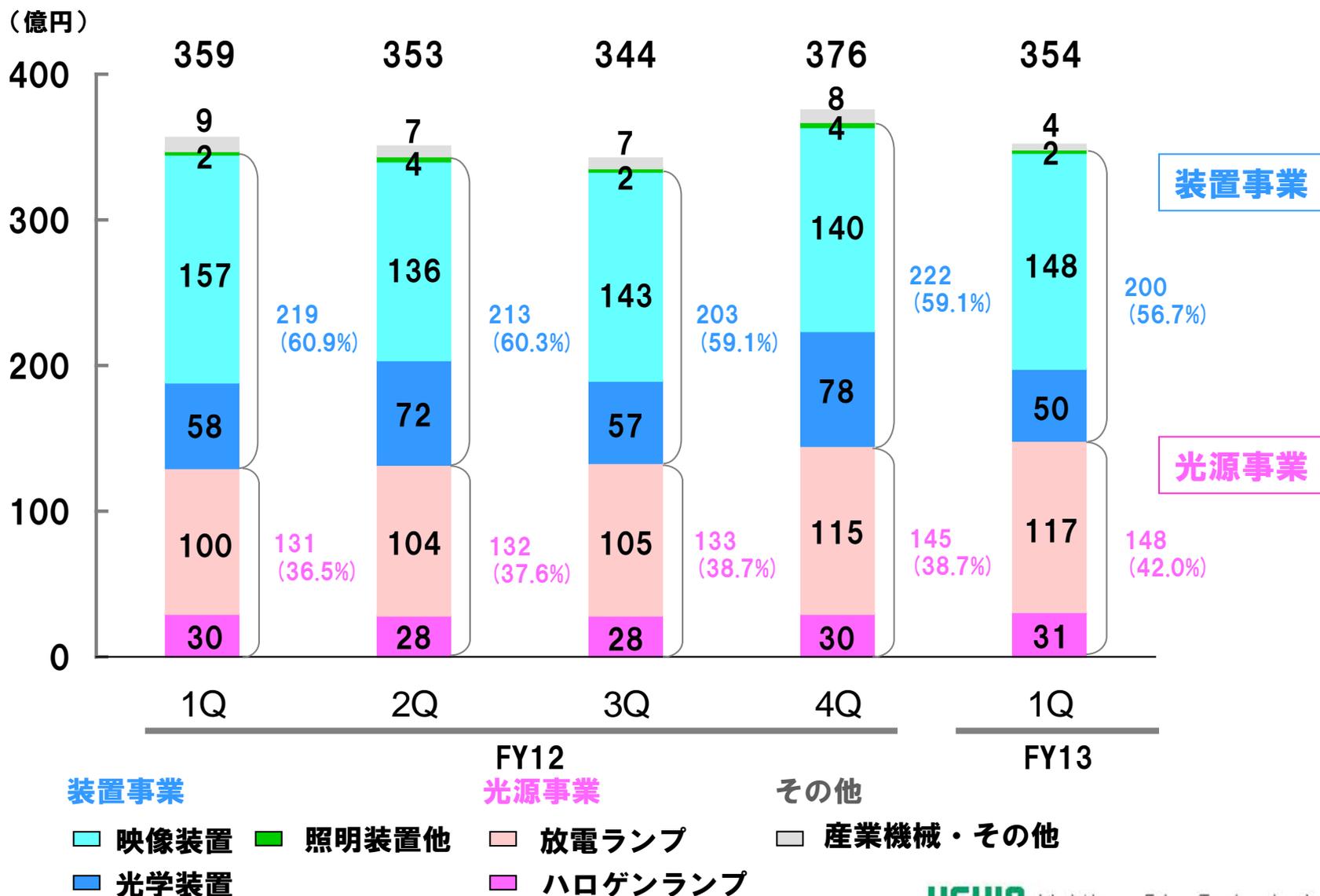
露光用UVランプのリプレイス需要は、FPD・半導体・電子部品関連メーカーの緩やかな稼働率回復により堅調に推移する見通し。シネマ用クセノンランプは、当社製品の高信頼性およびDCPの総設置台数が増加したことによる需要拡大により、今後も引き続き好調の見込み。その他、データプロジェクタ用ランプなども底堅く推移の見通し。

### ハロゲンランプ：

OA用ハロゲンランプは欧州の景気低迷の懸念があるものの、高シェアを維持し堅調に推移する見込み。

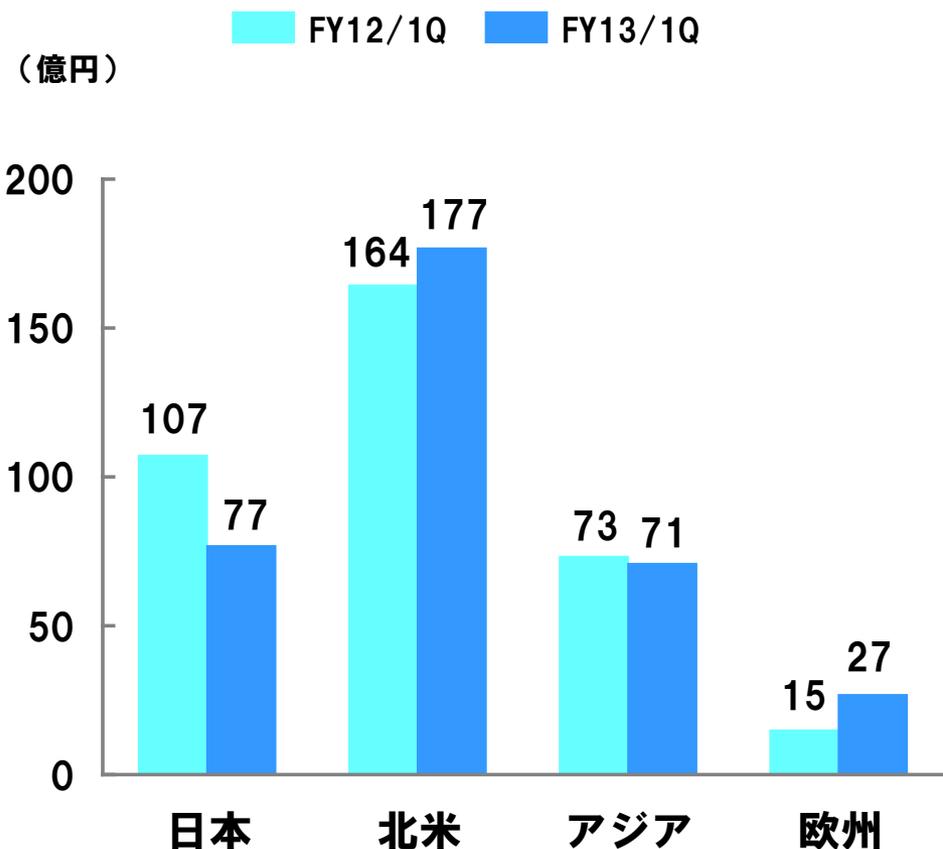
- 
- I. 第1四半期業績概況
  - II. 通期業績見通し
  - III. **参考資料**

# サブセグメント別売上高 《四半期比較》

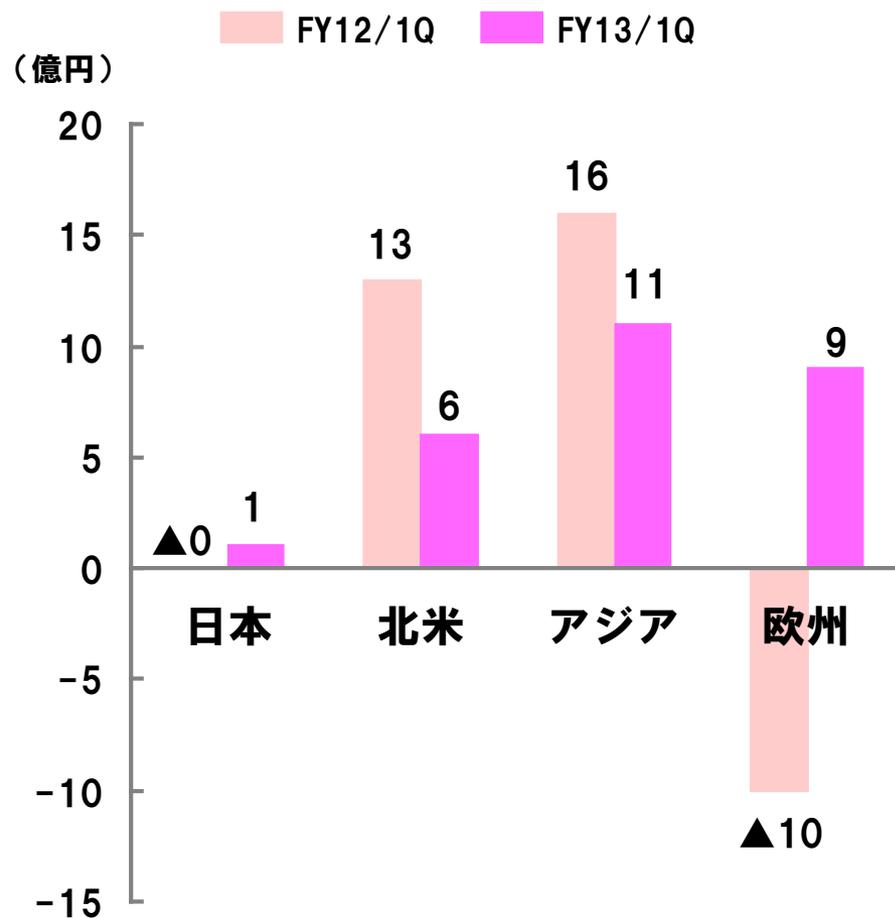


# 所在地別損益

## ◆売上高



## ◆営業利益

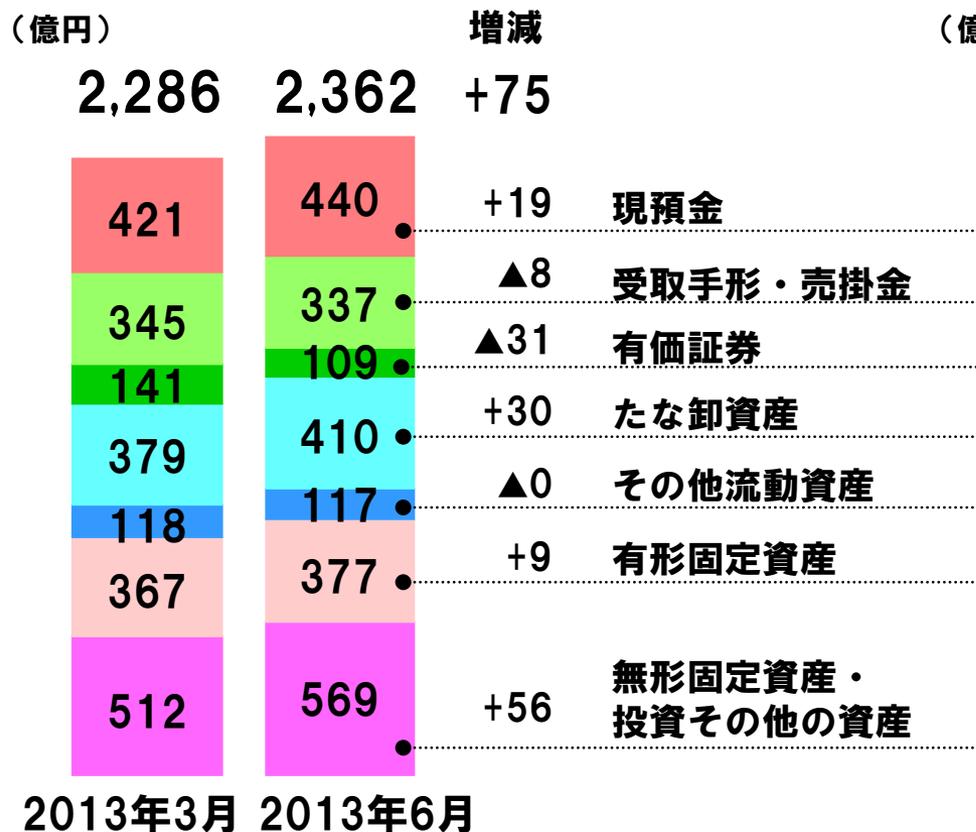


# 営業外収支

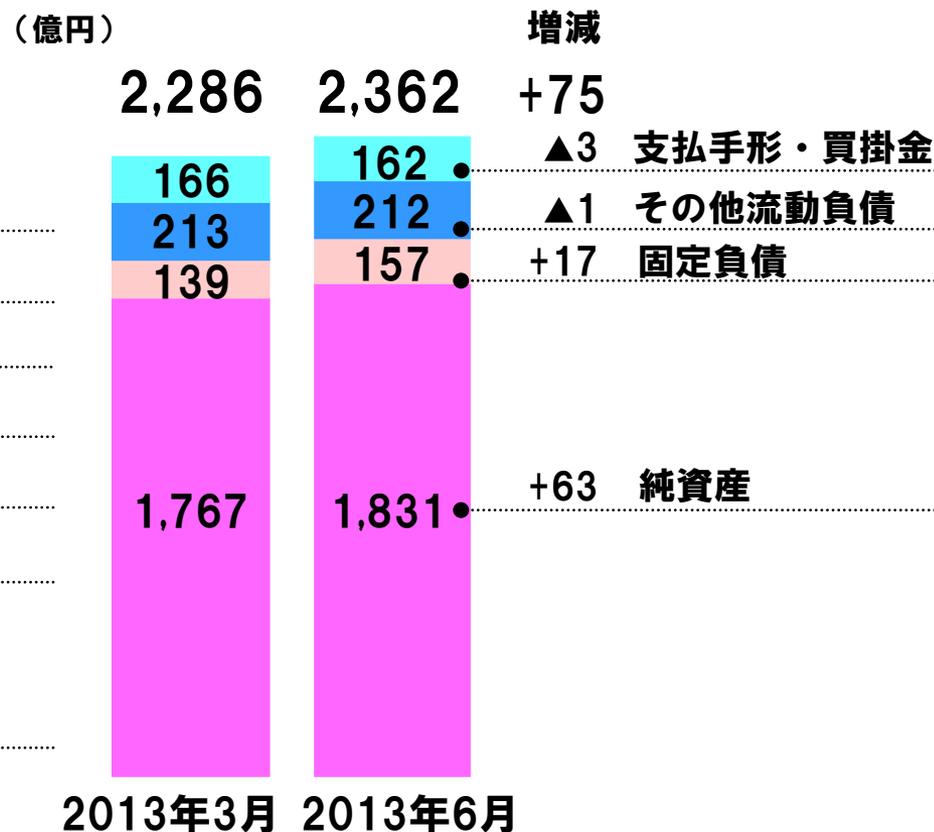
(億円)	FY12/1Q	FY13/1Q	YoY
<b>営業外収益</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>+7</b>
受取配当金	3	3	+0
為替差益	-	4	+4
売買目的有価証券運用益	-	1	+1
その他	0	1	+0
<b>営業外費用</b>	<b>12</b>	<b>0</b>	<b>▲11</b>
為替差損	8	-	▲8
売買目的有価証券運用損	1	-	▲1
その他	1	0	▲1
<b>営業外収支</b>	<b>▲7</b>	<b>12</b>	<b>+19</b>

# BS内訳

## ◆資産



## ◆負債・純資産



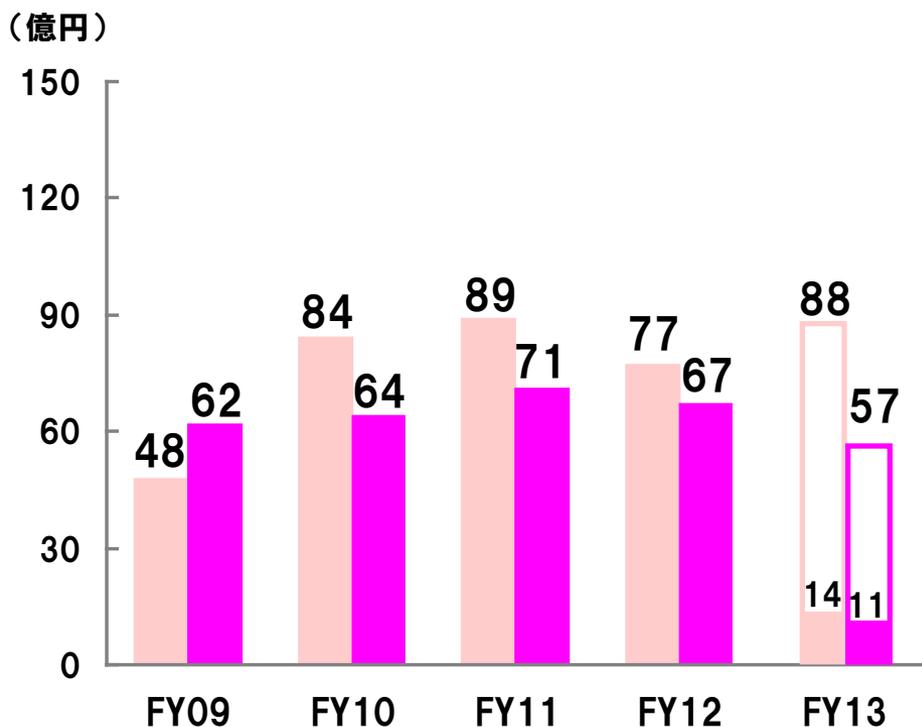
●回転月数 (ヶ月)	2013/3	2013/6
売上債権	3.0	2.9
たな卸資産	3.3	3.3

●自己資本比率	2013/3	2013/6
	75.9%	76.2%

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

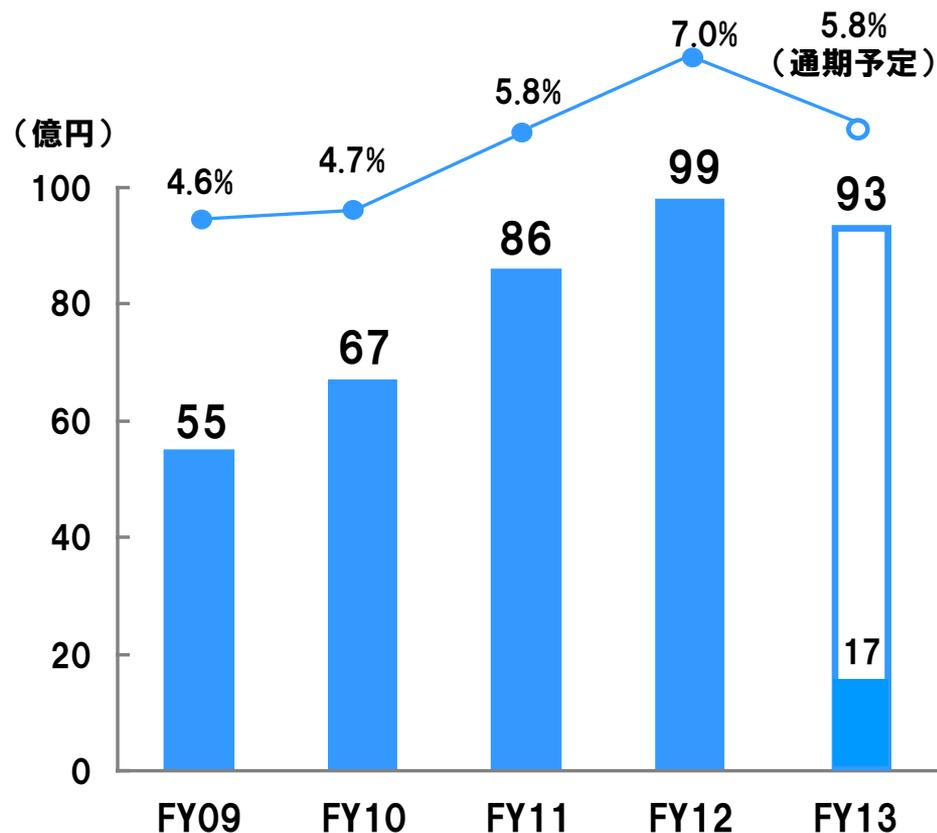
## ◆設備投資額・減価償却費

■ 設備投資額  
■ 減価償却費



## ◆研究開発費

●—○ 売上高研究開発費率





# USHIO

本資料に関するお問い合わせ先  
ウシオ電機（株）広報IR室 （03）3242-1836  
[contact@ushio.co.jp](mailto:contact@ushio.co.jp)  
<http://www.ushio.co.jp/jp/>